

計画事業番号	00422	事務事業名	緑の活動拠点整備事業	担当部署	建設部都市整備課	電話	4225
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	-			
事務事業開始年度	平成17年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 3 節) 水と緑の空間の充実	
	(施策 1 ) 緑化の推進	
2 対象	市民、森林ボランティア	
3 目的と内容	富ヶ岡地区の市有林を緑の活動拠点と位置付け、市民や中学生等の森林施業体験、自然観察、間伐材利用によるキノコのホダ木作りなど体験学習や環境学習の場として、また森林ボランティアの活動、苗木作りの場として森を提供するとともに、家屋・倉庫については資材の保管や作業場などとして有効活用を図り、緑の活動拠点として整備・活用を進める。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	(1)家屋の維持管理 (2)森林ボランティア活動(苗木作り、植樹、下草刈り等) (3)緑陽中学校体験学習(下草刈り、除伐等) (4)森林ボランティア等活動用資材の購入 (5)作業車両用駐車場修繕 (6)管理用道路修繕 (7)きたひろしま130年記念市民植樹祭
	29年度	(1)家屋の維持管理 (2)森林ボランティア活動(苗木作り、植樹、下草刈り等) (3)緑陽中学校体験学習(下草刈り、除伐等) (4)森林ボランティア等活動用資材の購入 (5)作業車両用駐車場修繕

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
家屋等の維持管理 (屋根・外壁塗装) 遊歩道修繕 活動用資材等の購入	家屋等の維持管理 (屋根・外壁塗装) 駐車場修繕 活動用資材等の購入	家屋等の維持管理 (屋根・外壁修繕塗装) 活動用資材等の購入		家屋等の維持管理 活動用資材等の購入		家屋等の維持管理 活動用資材等の購入	

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	富ヶ岡地区の市有林は、市民等による森林施業体験や森林ボランティアの活動の場として適地であることから、緑の活動拠点として今後も有効活用に努める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			638		205		209		209	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	638		205		209		209	
	① 合計	638		205		209		209		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	4,200	0	4,200	0	4,200	0	4,200	0	
総事業費①+④			4,838		4,405		4,409		4,409	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 森林ボランティアの活動延人数	人	310	310	310	310
		実績値	878			
	② 緑陽中学校体験学習の開催(下草刈り1回、下枝刈り1回)	回	2	2	2	2
		実績値	2			
③	目標値					
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	① 森林ボランティアによる整備【指標の定義(算式等)】	ha	1.48	1.48	1.48	1.48
		実績値	1.48			
	② 緑陽中学校体験学習参加人数【指標の定義(算式等)】	人	100	100	100	100
		実績値	111			
③	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	森林施業体験や森林の保全及び整備を市民の参加を得て実施するための活動拠点事業は、緑愛思想を高めるとともに、豊かな自然と緑を育成していくために必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	森林ボランティアによる育苗や森林整備、森林資源の有効活用研究等、活動フィールドとして十分活用されている。また、市民植樹祭や緑陽中学校体験学習で植栽された苗木は順調に生育し、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	森林ボランティアの協力支援を得ながら事業を実施しているため、費用対効果は得られているが、活動の拠点となる施設(管理棟、資材庫)の充実が必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市民等を対象として森林施業体験や森林ボランティアの活動の場として提供する上で最低限の経費で実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】  
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。